

請求の範囲

- [請求項1] ラジカル重合性化合物（A）と膨張材（B）とラジカル重合開始剤（C）と骨材（I）とを含有し、かつ、遊離水を含まないラジカル重合性樹脂組成物であって、
前記骨材（I）が結合水を含むラジカル重合性樹脂組成物。
- [請求項2] 前記骨材（I）の含有量は、前記ラジカル重合性化合物（A）100質量部に対して、5質量部～500質量部である請求項1に記載のラジカル重合性樹脂組成物。
- [請求項3] 前記ラジカル重合性化合物（A）がビニルエステル樹脂とラジカル重合性単量体とを含む請求項1又は2に記載のラジカル重合性樹脂組成物。
- [請求項4] 前記膨張材（B）が石灰及びカルシウムサルフォアルミネートからなる群から選択される少なくとも1種を含む請求項1～3のいずれか1項に記載のラジカル重合性樹脂組成物。
- [請求項5] 前記ラジカル重合開始剤（C）が、ヒドロペルオキシド（ ROOH ）である請求項1～4のいずれか1項に記載のラジカル重合性樹脂組成物。
- [請求項6] 更に金属含有化合物（D）とチオール化合物（E）とを含有する請求項1～5のいずれか1項に記載のラジカル重合性樹脂組成物。
- [請求項7] 前記ラジカル重合性化合物（A）100質量部に対して、前記膨張材（B）が0.3質量部～30質量部である請求項1～6のいずれか1項に記載のラジカル重合性樹脂組成物。
- [請求項8] 前記ラジカル重合性化合物（A）100質量部に対して、前記ラジカル重合開始剤（C）が0.1質量部～10質量部である請求項1～7のいずれか1項に記載のラジカル重合性樹脂組成物。
- [請求項9] 請求項1～8のいずれか1項に記載のラジカル重合性樹脂組成物の硬化物。
- [請求項10] 前記硬化物の長さの変化率は、硬化後3000時間以後、0～10

0.0×10^{-6} である請求項 9 に記載の硬化物。

[請求項11] ラジカル重合性化合物（A）と膨張材（B）とラジカル重合開始剤（C）と骨材（I）とを混合する混合工程を含む、ラジカル重合性樹脂組成物を製造する方法であって、

前記骨材（I）が結合水を含む、ラジカル重合性樹脂組成物の製造方法。

[請求項12] 水を添加する工程を含まない、請求項 11 に記載のラジカル重合性樹脂組成物の製造方法。

[請求項13] 請求項 11 または 12 に記載の、ラジカル重合性樹脂組成物の製造方法を用いて、得られたラジカル重合性樹脂組成物であって、

ラジカル重合性化合物（A）と膨張材（B）とラジカル重合開始剤（C）と骨材（I）を含むラジカル重合性樹脂組成物。